



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 増田製粉所  
 コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 武政 亮佐  
 (氏名) 岩永 和弘  
 TEL 078-681-6701

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,466	4.0	307	12.8	322	11.9	173	6.5
29年3月期第2四半期	4,655	6.5	272	67.4	288	70.1	162	113.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 256百万円 (15.0%) 29年3月期第2四半期 222百万円 (134.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	190.01	
29年3月期第2四半期	178.31	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	7,589	5,034	58.8	4,895.88
29年3月期	7,657	4,836	56.3	4,727.13

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,463百万円 29年3月期 4,309百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				6.00	6.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正に関する詳細につきましては、本日別途公表しております「平成30年3月期配当予想の修正及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	3.7	420	9.4	430	19.0	280	15.5	307.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,000,000 株	29年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	88,359 株	29年3月期	88,298 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	911,684 株	29年3月期2Q	911,932 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第129回定時株主総会において株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は30円71銭であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策等を背景に緩やかな回復基調にあるものの、消費者の低価格・節約志向が強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。一方で、外国産小麦の政府売渡価格が平成29年4月から平均4.6%引き上げられたことに伴い、業務用小麦粉の販売価格を改定いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は44億6千6百万円（前年同期比1億8千8百万円減、4.0%減）となりましたが、営業利益は3億7百万円（前年同期比3千4百万円増、12.8%増）、経常利益は3億2千2百万円（前年同期比3千4百万円増、11.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千3百万円（前年同期比1千万円増、6.5%増）、四半期包括利益は2億5千6百万円（前年同期比3千3百万円増、15.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、小麦粉需要の低迷に加え、相次ぐ原料小麦の価格変動、販売競争の激化等、厳しい状況下で推移いたしました。その結果、売上高は26億1千2百万円（前年同期比1億8千6百万円減、6.6%減）、営業利益は1億6千8百万円（前年同期比3百万円減、1.9%減）となりました。

#### ②食品

食品事業におきましては、乾麺需要の低迷等の影響をうけ、売上高は18億5千4百万円（前年同期比2百万円減、0.1%減）となりましたが、原材料価格の見直し等、コスト削減に努めた結果、営業利益は1億3千4百万円（前年同期比4千1百万円増、44.5%増）となりました。

当社グループの売上高は、上半期と下半期とでその構成内容に季節要因による著しい相違があります。これは、当社グループの食品事業において、主要製品である乾麺の需要期が夏場であり、4月～8月に売上が集中する傾向にあるためであります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末に比べ6千8百万円減少し、75億8千9百万円となりました。

流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ2千4百万円減少し、46億4千万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が2億6千3百万円増加した一方で、商品及び製品が2億5千3百万円、原材料及び貯蔵品が5千3百万円減少したことによるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ4千3百万円減少し、29億4千9百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が5千2百万円増加した一方で、有形固定資産が8千5百万円減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2億6千6百万円減少し、25億5千4百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が1億8百万円増加した一方で、長短借入金が4億8千4百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、利益剰余金が1億1千8百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億9千7百万円増加し、50億3千4百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結会計期間末に比べ2億3千6百万円減少し、10億7千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、5億9千6百万円（前年同期は4千1百万円の使用）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が3億2千2百万円、減価償却費が1億1千万円となったことおよび仕入債務が1億8百万円増加し、たな卸資産が3億6百万円減少した一方で、売上債権が2億6千3百万円増加したことおよび法人税等の支払額9千1百万円によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、9百万円（前年同期は3千万円の使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出8百万円によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、5億4千3百万円（前年同期は3億7千6百万円の獲得）となりました。これは主として長期借入金が3億3千4百万円、短期借入金が1億5千万円減少したことおよび配当金の支払額5千4百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日に公表しました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の通期業績予想につきまして変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,032,164	1,076,266
受取手形及び売掛金	922,088	1,185,972
商品及び製品	1,059,927	806,668
原材料及び貯蔵品	1,523,151	1,469,798
繰延税金資産	41,777	42,065
その他	87,280	61,645
貸倒引当金	△1,470	△1,980
流動資産合計	4,664,919	4,640,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,228,227	1,189,361
機械装置及び運搬具(純額)	581,275	524,096
土地	494,931	494,931
その他(純額)	33,365	44,290
有形固定資産合計	2,337,799	2,252,679
無形固定資産		
その他	31,822	25,365
無形固定資産合計	31,822	25,365
投資その他の資産		
投資有価証券	492,404	545,375
長期貸付金	1,590	1,300
繰延税金資産	412	443
その他	133,795	128,956
貸倒引当金	△5,071	△5,071
投資その他の資産合計	623,131	671,004
固定資産合計	2,992,753	2,949,049
資産合計	7,657,673	7,589,485

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,461	485,436
短期借入金	1,310,994	1,021,829
未払法人税等	104,943	109,741
その他	339,927	427,193
流動負債合計	2,132,326	2,044,200
固定負債		
長期借入金	488,551	292,914
繰延税金負債	56,336	70,843
退職給付に係る負債	73,577	76,807
その他	69,953	69,884
固定負債合計	688,418	510,449
負債合計	2,820,745	2,554,649
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	3,755,294	3,873,822
自己株式	△204,197	△204,409
株主資本合計	4,118,735	4,237,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,998	226,233
その他の包括利益累計額合計	190,998	226,233
非支配株主持分	527,193	571,551
純資産合計	4,836,927	5,034,835
負債純資産合計	7,657,673	7,589,485

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,655,019	4,466,987
売上原価	3,726,237	3,494,440
売上総利益	928,781	972,546
販売費及び一般管理費	656,202	665,030
営業利益	272,579	307,515
営業外収益		
受取利息	187	181
受取配当金	8,026	8,117
保険返戻金	4,209	5,177
その他	7,117	4,353
営業外収益合計	19,540	17,830
営業外費用		
支払利息	3,473	2,290
その他	189	174
営業外費用合計	3,663	2,464
経常利益	288,456	322,881
特別利益		
固定資産売却益	259	131
特別利益合計	259	131
特別損失		
固定資産除却損	171	121
特別損失合計	171	121
税金等調整前四半期純利益	288,544	322,890
法人税等	89,623	102,355
四半期純利益	198,921	220,535
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,608	173,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,312	47,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,852	35,671
その他の包括利益合計	23,852	35,671
四半期包括利益	222,774	256,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,354	208,464
非支配株主に係る四半期包括利益	35,420	47,742

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	288,544	322,890
減価償却費	120,814	110,051
貸倒引当金の増減額（△は減少）	850	510
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2,823	3,229
受取利息及び受取配当金	△8,213	△8,299
支払利息	3,473	2,290
有形固定資産売却損益（△は益）	△259	△131
固定資産除却損	171	121
未払消費税等の増減額（△は減少）	△63,287	54,538
売上債権の増減額（△は増加）	△93,965	△263,884
たな卸資産の増減額（△は増加）	△125,255	306,613
仕入債務の増減額（△は減少）	△108,546	108,974
その他	28,701	45,214
小計	45,853	682,119
利息及び配当金の受取額	8,213	8,299
利息の支払額	△3,798	△2,567
法人税等の支払額	△92,029	△91,233
営業活動によるキャッシュ・フロー	△41,761	596,617
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,402	△8,210
有形固定資産の売却による収入	260	131
投資有価証券の取得による支出	△1,564	△1,571
貸付けによる支出	△2,000	—
貸付金の回収による収入	270	290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,437	△9,360
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△20,000	△150,000
長期借入れによる収入	710,000	—
長期借入金の返済による支出	△253,532	△334,802
リース債務の返済による支出	△369	—
自己株式の取得による支出	△62	△212
配当金の支払額	△54,569	△54,755
非支配株主への配当金の支払額	△5,384	△3,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	376,081	△543,154
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	303,883	44,102
現金及び現金同等物の期首残高	1,008,685	1,032,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,312,569	1,076,266



（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,798,610	1,856,409	4,655,019	—	4,655,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,797	2,386	73,184	△73,184	—
計	2,869,407	1,858,796	4,728,204	△73,184	4,655,019
セグメント利益	171,900	92,931	264,831	7,747	272,579

（注）1. セグメント利益の調整額7,747千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,612,591	1,854,396	4,466,987	—	4,466,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,492	2,418	72,911	△72,911	—
計	2,683,084	1,856,814	4,539,898	△72,911	4,466,987
セグメント利益	168,556	134,287	302,843	4,671	307,515

（注）1. セグメント利益の調整額4,671千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

（重要な後発事象）

日東富士製粉株式会社による当社株式に対する公開買付けについて

当社は、平成29年11月10日開催の取締役会において、日東富士製粉株式会社（以下「公開買付者」といいます。）に対し、公開買付者による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対しては、その所有する当社株式を本公開買付けに応募することを推奨する旨の決議をいたしました。

なお、当社の上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社を完全子会社化する予定であること及び当社株式が上場廃止となる予定であることを前提としております。

1. 公開買付者の概要

(1) 名称	日東富士製粉株式会社	
(2) 所在地	東京都中央区新川一丁目3番17号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 下嶋 正雄	
(4) 事業内容	製粉及び食品事業 外食事業 運送事業	
(5) 資本金の額	2,500百万円（平成29年9月30日現在）	
(6) 設立年月日	大正3年3月25日	
(7) 大株主及び持株比率 （平成29年9月30日現在）	三菱商事株式会社	62.93%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3.28%
	MSIP CLIENT SECURITIES（常任代理人モルガン・スタンレー MUFG証券株式会社）	1.40%
	日東富士製粉持株会	1.32%
	山崎製パン株式会社	1.32%
	日清食品ホールディングス株式会社	1.10%
	株式会社中村屋	1.07%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	0.88%
	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO（常任代理人シティバ ンク銀行株式会社）	0.67%
	鈴与株式会社	0.55%
(8) 当社と公開買付者の関係		
	資本関係	公開買付者は、当社普通株式280,000株（所有割合：30.71%）を所有しており、当社を持分法適用関連会社としております。
	人的関係	本日現在、当社の取締役6名のうち2名が公開買付者の取締役又は執行役員を兼務しており、2名が公開買付者の出身者です。また、当社の監査役4名のうち、1名が公開買付者の従業員を兼務しており、1名は公開買付者の出身者です。加えて、本日現在、公開買付者の従業員2名が当社へ出向しております。
	取引関係	当社と公開買付者は、業務提携に基づき、研究開発、生産、販売及び物流について両社の事業発展のため取り組んでおり、小麦粉等の仕入、販売を相互に行っております。
	関連当事者への該当状況	当社は公開買付者の持分法適用関連会社であり、公開買付者は関連当事者に該当します。

2. 本公開買付けの概要

(1) 買付け等の期間

平成29年11月13日（月曜日）から平成29年12月25日（月曜日）まで（30営業日）

(2) 買付け等の価格

普通株式1株につき、金 4,805円

(3) 公開買付け予定株式数

買付予定数 631,641株

買付予定数の下限 327,800株

買付予定数の上限 ー 株

(4) 公開買付公告日

平成29年11月13日（月曜日）